

冬

道路に危険潜む



今年の交通事故発生 前年同期より増加

今年9月18日、町内若葉町の町道南12線と道道北見白糠線交差点で死亡事故が発生しました。以後この事故を含め10月14日まで同じ交差点で5件の出会い頭事故が発生しました。

今年1月から11月17日までの町内の交通事故発生状況は、下表の通り前年同期を上回っています。

町としては、町民の皆さんや関係機関のご理解、ご協力を得て、路面の交通安全表示や街頭啓発などハード・ソフト両面の交通安全対策を実施しています。

平成23年 町内の交通事故発生状況

| 発生件数 | 死者 | 傷者 |
|---------|---------|----------|
| 9件 (+1) | 2人 (+2) | 13人 (+1) |

1月1日～11月17日
カッコ内は前年同期比

年末年始にかけては、忘年会・新年会など飲酒の機会が増えてきます。飲酒運転は、悪質な交通違反です。酒酔い・酒気帯び運転をした者ばかりではなく、車両提供者、酒類提供者、同乗者に至るまで罰則があります。

飲酒運転をしない、飲酒運転者を出さないなど、ドライバー本人および企業、地域など一体となって飲酒運転の根絶を図りましょう。

さらに夜間、暗い時間帯が長くなることで、ドライバーも歩行者も夕暮れ、夜間の交通事故防止に努めましょう。

飲酒運転の根絶を

雪と氷の季節

積雪寒冷地の訓子府町にとって冬道は、さまざまな場所で交通事故発生の危険が潜んでいます。

ドライバーは、夏以上に安全運転を、また、歩行者も周囲の状況に十分気を配って歩くことを心がけましょう。

冬道の危険と事故防止

北海道では冬期間に人身事故が多く発生します。その大きな理由は、路面が滑りやすくなることです。

ドライバーは、常に「道路は滑る」ということを頭に入れたと同時に、気温や交通量、わだちなどの道路形状といった滑りやすさの状況を考慮して走行することが大切です。

交差点の走行は夏場と同様に一時停止を守り、左右の安全確認を徹底することや、優先道路であっても徐行することです。

さらに冬期間は、交差点が吹雪や雪山により、視界不良となることもありますので、夏場以上の安全確認を徹底することが必要です。

冬道事故防止のポイント

- ① その場の路面状況を把握し、ブレーキは夏場の2倍以上手前から
- ② 緩いカーブや坂道も油断しない
- ③ カーブの片勾配で横滑りしないよう、カーブに入る前に減速を
- ④ 早めの出発や余裕の運行計画などで無理のないスピードを保持するとともに、シートベルト着用を徹底する
- ⑤ 吹雪や雪山で交差点など視界が不良となるため、ドライバーも歩行者も交差点の走行や横断時には安全確認を徹底する。また、路面が滑りやすいので横断歩道を渡る歩行者は、安全確認も含めて、ゆっくりと歩いて横断する

交通事故多発期迎え 安全運転などの徹底を

